

1 調査の概要

- (1)実施期間 : 令和4年12月1日(木)から令和4年12月15日(木) まで
- (2)調査対象 : 武蔵村山市立第三小学校 保護者(305名)
- (3)調査内容 : 学校経営方針にある4つの教育課題に関する質問紙調査(4選択方式)
「A大変あてはまる」「Bあてはまる」「Cあまりあてはまらない」「Dあてはまらない」の4段階で回答し、回答不能の場合は、「E分からない」で回答
- (4)今年度調査の特徴
 - ・昨年度調査と質問事項の内容を同じにすることで、経年比較を実施する。
 - ・ウェブシステムによる回答を中心とし、紙媒体による回答も可能とした。

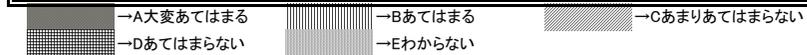


2 調査結果を踏まえた次年度に向けての改善内容

- <調査結果から見える主な現状>
- ・学校からの情報発信は肯定的に捉えているが、学力向上や豊かな心の育成に関する項目では、「わからない」の回答が多い。
 - ・教育活動における感染症対策については、賛否両論様々な意見があり、保護者の間での意識や考えの差が大きい。
 - ・学校公開等で学校の様子を見る機会が増えたことで、道徳の授業等豊かな心の育成の項目で肯定的な評価が増えた反面、基礎学力や学習規律の定着などの項目で否定的な評価が増えた。教職員の言動について、改善を要望する意見も多い。
- <次年度に向けての方向性>
- ◎児童の安全・安心を保障した上での柔軟な教育活動の実施(学校公開、情報発信の工夫など)
 - 保護者・地域との連携の強化(保護者への適正なフィードバック、地域人材の有効活用など)
 - 組織的な対応や取組の強化と教育公務員としての資質やプロ意識の向上(毅然・丁寧・信念)

3 各質問項目における調査結果

※保護者175名からの回答、回収率 約 57%
 ※評価基準 : 「A大変あてはまる」「Bあてはまる」と回答した割合が85%以上を「高い理解をいただいている」、70%以上85%未満を「概ね理解をいただいている」、70%未満を「課題として捉える」と設定



質問項目	調査結果 (R4/R3)	上段: 回答結果	下段: 保護者からの主な意見	評価
(1) 朝の時間を活用した朝学習や低学年において支援員等を活用するなど、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の定着に努めている。【確かな学力の育成】	<p>R4: 8.6%, 40.0%, 14.3%, 7.4%, 29.7%</p> <p>R3: 7.9%, 42.5%, 12.5%, 4.2%, 32.9%</p>	上段: 回答結果	下段: 保護者からの主な意見	課題
(2) 多様な読書活動(朝読書・読書仲間・読み聞かせ等)を行い、児童の表現力や想像力等が高まるように努めている。【確かな学力の育成】	<p>R4: 14.3%, 57.7%, 11.4%, 6.3%, 10.3%</p> <p>R3: 18.8%, 54.6%, 11.7%, 3.3%, 11.7%</p>	上段: 回答結果	下段: 保護者からの主な意見	概ね理解
(3) ICT機器等(児童用タブレットや教員提示用スクリーン等)を効果的に活用し、児童が学習活動に主体的に学ぶように努めている。【確かな学力の育成】	<p>R4: 17.7%, 55.4%, 14.9%, 4.6%, 7.4%</p> <p>R3: 15.0%, 54.6%, 11.7%, 5.0%, 13.8%</p>	上段: 回答結果	下段: 保護者からの主な意見	概ね理解
(4) 授業中において、話し方や聴き方、返事の仕方など、学習規律が保たれている。【確かな学力の育成】	<p>R4: 7.4%, 48.6%, 21.1%, 5.1%, 17.7%</p> <p>R3: 20.8%, 50.0%, 16.7%, 6.7%, 5.8%</p>	上段: 回答結果	下段: 保護者からの主な意見	課題
(5) 道徳科の授業において、児童同士で話し合いの場を設定するなど、自己の考えが深まるように指導の工夫を図っている。【豊かな心の育成】	<p>R4: 14.3%, 52.6%, 10.9%, 4.0%, 18.3%</p> <p>R3: 7.9%, 46.3%, 8.8%, 2.5%, 34.6%</p>	上段: 回答結果	下段: 保護者からの主な意見	課題(改善傾向)

<p>(6) スクールカウンセラーによる面接やいじめアンケート等を活用するなど、いじめ不登校の未然防止・早期発見に努めている。【豊かな心の育成】</p>	<p>上段: 回答結果 下段: 保護者からの主な意見</p> <p>「A大変あてはまる」、「Bあてはまる」と回答をした割合は56.6%で、昨年度より8.7ポイント増加しました。また、「Cあまりあてはまらない」、「Dあてはまらない」と回答をした割合は16.0%で、昨年度より1.1ポイント減少しました。「E分からない」と回答した割合は27.4%で、昨年度より7.6ポイント減少しました。</p> <p>◆いじめ不登校に関しては、当事者でないスクールカウンセラーやアンケートが役に立ったのかわかりません。 ◆スクールカウンセラーに相談したくても敷居が高いと感じます。もっと気軽に相談活用できれば早い段階でトラブルは解決できると思います。</p> <p>課題（改善傾向）</p>
<p>(7) 児童への敬称を付けた呼名や明るいあいさつ、教室の掲示物など児童一人一人を大切にされた教育活動を実践している。【豊かな心の育成】</p>	<p>上段: 回答結果 下段: 保護者からの主な意見</p> <p>「A大変あてはまる」、「Bあてはまる」と回答をした割合は73.2%で、昨年度より4.8ポイント増加しました。また、「Cあまりあてはまらない」、「Dあてはまらない」と回答をした割合は14.8%で、昨年度より3.1ポイント増加しました。「E分からない」と回答した割合は12.0%で、昨年度より8.0ポイント増加しました。</p> <p>◆子供の呼び方は、先生によって苗字にくんさん呼びや名前呼び等様々ですが、担任以外の先生にもよく声をかけて頂いているようで、とてもありがたいです。 ◆先生方は、子供たちをいつも温かく見守ってくださり、大変ありがたく思っております。ただ、子供たちの自主性を重んじるあまり、肝心のフォローや導きが不足していると感じています。もう少し丁寧なサポートをお願いしたいです。</p> <p>概ね理解</p>
<p>(8) 体育の時間や体育的活動(丘の上スポーツタイム等)の充実を図り、児童の体力向上に努めている。【健やかな体の育成】</p>	<p>上段: 回答結果 下段: 保護者からの主な意見</p> <p>「A大変あてはまる」、「Bあてはまる」と回答をした割合は82.3%で、昨年度より2.8ポイント減少しました。また、「Cあまりあてはまらない」、「Dあてはまらない」と回答をした割合は10.2%で、昨年度より2.3ポイント増加しました。「E分からない」と回答した割合は7.4%で、昨年度より0.3ポイント増加しました。</p> <p>◆体カテストの結果から、「体力向上に努めている」とは言い難いです。身体を動かす楽しみを子どもに伝えられていないのではないのでしょうか。</p> <p>概ね理解</p>
<p>(9) 換気や消毒、手洗い、マスク着用などの感染対策を徹底させ、児童・保護者の安心・安全に努めている。【健やかな体の育成】</p>	<p>上段: 回答結果 下段: 保護者からの主な意見</p> <p>「A大変あてはまる」、「Bあてはまる」と回答をした割合は76%で、昨年度より9.9ポイント減少しました。また、「Cあまりあてはまらない」、「Dあてはまらない」と回答をした割合は10.3%で、昨年度より5.3ポイント増加しました。「E分からない」と回答した割合は13.7%で、昨年度より4.5ポイント増加しました。</p> <p>◆コロナ禍3年、子供たちに自由に生活させてあげてほしい。先生は、マスクを外して、笑顔で授業をしてほしい。 ◆マスク、熱食、いつまで続けるのでしょうか。少しずつ自由にして様子を見るのがいいのではないのでしょうか。 ◆感染症対策のお手紙をいただいているのですが、学校公開で見られる限り、徹底されているとはいえない状況だと思いました。</p> <p>概ね理解</p>
<p>(10) ALTや英語活動支援員を効果的に活用し、全学年における英語教育を実施するなど、国際理解・国際感覚の醸成に努めている。【特色ある学校づくり】</p>	<p>上段: 回答結果 下段: 保護者からの主な意見</p> <p>「A大変あてはまる」、「Bあてはまる」と回答をした割合は77.7%で、昨年度より0.2ポイント増加しました。また、「Cあまりあてはまらない」、「Dあてはまらない」と回答をした割合は8.0%で、昨年度より3.3ポイント減少しました。「E分からない」と回答した割合は14.3%で、昨年度より3.0ポイント増加しました。</p> <p>◆英語の授業はやっているが、国際理解につながっているかは、わかりません。</p> <p>概ね理解</p>
<p>(11) 学校運営連絡協議会を中心に、PTAや青少対、グリーンサポーターなど、保護者・地域と協働した活動を通じ、児童の健全育成を図っている。【特色ある学校づくり】</p>	<p>上段: 回答結果 下段: 保護者からの主な意見</p> <p>「A大変あてはまる」、「Bあてはまる」と回答をした割合は77.7%で、昨年度より1.5ポイント減少しました。また、「Cあまりあてはまらない」、「Dあてはまらない」と回答をした割合は13.7%で、昨年度より6.2ポイント増加しました。「E分からない」と回答した割合は8.6%で、昨年度より4.7ポイント減少しました。</p> <p>◆現代の生活環境に、昔ながらの風習や活動を当てはめるには無理がありすぎると思います。何のための活動なのか考え直す時期ではないのでしょうか。時代が変わり、生活習慣や環境も変わった中で、取捨選択をして時代に合ったやり方に変えていくべきだと考えます。</p> <p>概ね理解</p>
<p>(12) 連絡メールやホームページ、学校公式ツイッター等で教育活動の様子を伝えるなど、積極的な情報発信に努めている。【特色ある学校づくり】</p>	<p>上段: 回答結果 下段: 保護者からの主な意見</p> <p>「A大変あてはまる」、「Bあてはまる」と回答をした割合は92.0%で、昨年度より3.2ポイント増加しました。また、「Cあまりあてはまらない」、「Dあてはまらない」と回答をした割合は6.3%で、昨年度より0.4ポイント減少しました。「E分からない」と回答した割合は1.7%で、昨年度より2.9ポイント減少しました。</p> <p>◆毎日Twitterによる情報発信で学校情報を得ることができ、コロナ禍でも保護者や地域とつながっている安心感があります。 ◆手紙も可能であればメールにしてほしいです。</p> <p>高い理解</p>